

◆書籍紹介 『国土のグランドデザイン2050』が描くこの国の未来  
(国土交通省国土政策研究会)

本格的な人口減少社会の到来、巨大災害の切迫、グローバル化の進展など、重要課題が切迫する中、未来を切り開いていくための国土づくりの理念・考え方について、国土交通省が「国土のグランドデザイン2050～対流促進型国土の形成～」を平成26年7月に発表しました。

本書はこの解説本として、明るい未来に向けて、我が国が目指す国土像とその実現のための戦略について、国土交通省の政策担当者が具体的な事例やデータを織り交ぜながら、わかりやすく解説したものです。

【目次】

- 第1章 国土をグランドデザインする
  - 第1節 我が国が迎える切迫した危機
  - 第2節 基本コンセプト；キーワードはコンパクト+ネットワーク
  - 第3節 対流こそが活力の源泉；「対流促進型国土」の形成
  - 第4節 多彩な戦略；「6つの課題」の克服に向けて
- 第2章 [対談：太田昭宏・増田寛也] 全国の市町村よ、人口減少に「知恵」と「ネットワーク」で立ち向かえ
- 第3章 [寄稿：有識者の方々から] 「国土のグランドデザイン2050」に寄せて
- 第4章 海外の事例に見るこれからの国土のあり方

【編著】 国土交通省国土政策研究会

【発行】 株式会社大成出版社 <https://www.taisei-shuppan.co.jp/>

【定価】 本体1,400円（税別）

【推薦】 増田寛也氏（日本創成会議座長・元総務大臣）

「本格的な人口減少という、これまで経験したことのない危機をどう乗り越えるか。東京一極集中を是正し、地方の活力を取り戻すには、スケールの大きな国土構想と新たな国土計画が、今まさに必要。本書は、新たな国づくりと地方創生に向けた必読書。多くの方々に、是非、手に取って読んでいただきたい。」